

# 和歌山県立医科大学附属病院 消化器内科

## 当科の特徴

消化器内科は消化管・肝・胆・膵の領域に細分化され、検査、治療に携わる領域は広範囲です。当科では、内科医としての基本的な診療技術を基盤として、消化器疾患の診断・治療に必要な専門的な知識と、内視鏡・超音波・造影などの専門的な技術を修得した、より専門性の高い診療能力を有する、実力ある消化器内科専門医を養成し、日本の消化器内科診療の発展をリードし、和歌山県における消化器疾患診療レベル

の向上に貢献してきました。

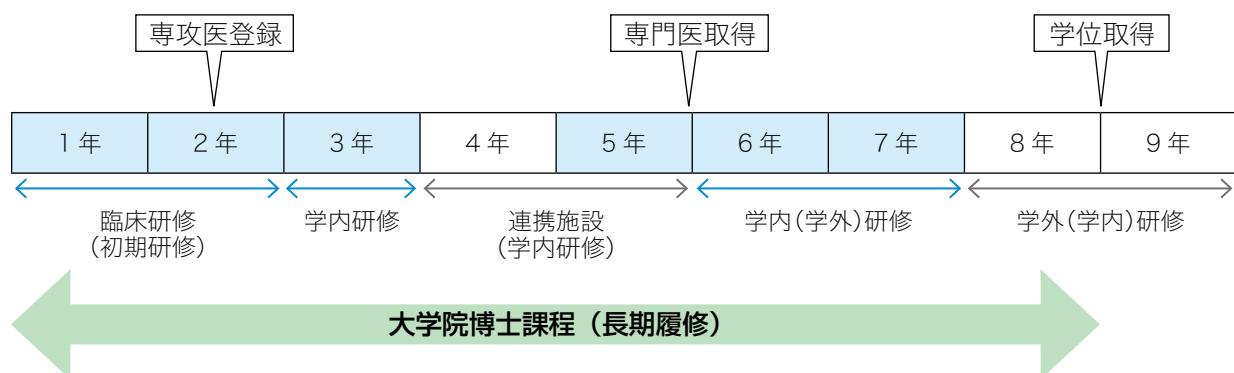
基本領域となる内科専門医取得後は、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、超音波専門医などの消化器関連専門医の取得が可能です。専門医資格取得後は、指導医の取得と同時に各々の領域での研究活動を通じて、地方および全国の評議員を委嘱されるようになっていきます。



## ローテーション例

## 一般枠コース

※ ■は学内研修

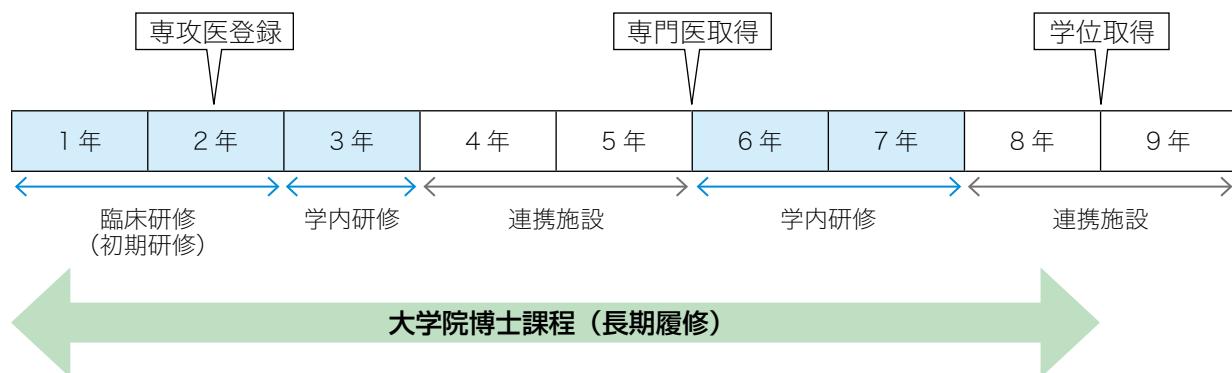


初期研修の後、3年目・4年目・5年目は、和歌山県立医科大学の内科専門医研修プログラムにて研修を行います。内科専門医研修プログラムの各科重点コースを選択された専攻医は、3年目は大学内での研修で、うち3ヶ月間は救急部もしくは緩和ケアセンターで研修を行います。4年目・5年目のうち1年間は連携施設で研修を行います。内科の専門研修と消化器内科の専門研修を並行研修し、内科専門医の取得の後、消化器関連の専門医（消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、超音波専門医）の取得が可能となります。専門医取得後は、指導医の取得と同時に各々の領域での研究活動を通じ、評議員を委嘱されるようになっていきます。学位取得希望者は早期から大学院に入学し、研究活動に従事する事が可能です。基礎研究や最先端の臨床技術の修得のため、希望により留学（国内・海外）が可能です。

## ローテーション例

## 県民医療枠コース

※ は学内研修

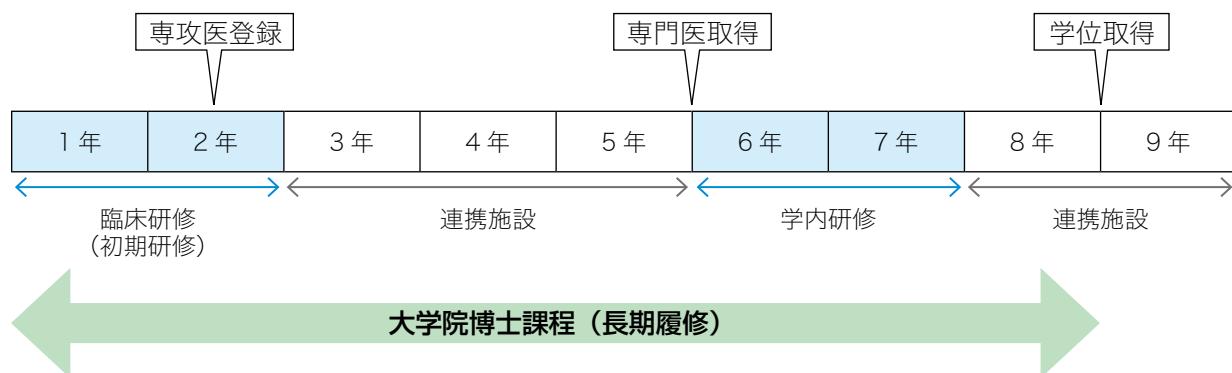


初期研修の後、3年目・4年目・5年目は、和歌山県立医科大学の内科専門医研修プログラムにて研修を行います。内科専門医研修プログラムの各科重点コースを選択された専攻医は、3年目は大学内での研修で、うち3ヶ月間は救急部もしくは緩和ケアセンターで研修を行います。4年目・5年目のうち1年間は連携施設で研修を行います。内科の専門研修と消化器内科の専門研修を並行研修し、内科専門医の取得の後、消化器関連の専門医（消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、超音波専門医）の取得が可能となります。専門医取得後は、指導医の取得と同時に各々の領域での研究活動を通じ、評議員を委嘱されるようになっていきます。学位取得希望者は早期から大学院に入学し、研究活動に従事する事が可能です。基礎研究や最先端の臨床技術の修得のため、希望により留学（国内・海外）が可能です。

## ローテーション例

## 地域医療枠コース

※ は学内研修



初期研修の後、3年目・4年目・5年目は、和歌山県立医科大学の内科専門医研修プログラムにて研修を行います。内科専門医研修プログラムの地域医療重点コースを選択された専攻医は、3年間連携施設で研修を行います。内科の専門研修と消化器内科の専門研修を並行研修し、内科専門医の取得の後、消化器関連の専門医（消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、超音波専門医）の取得が可能となります。専門医取得後は、指導医の取得と同時に各々の領域での研究活動を通じ、評議員を委嘱されるようになっていきます。学位取得希望者は早期から大学院に入学し、研究活動に従事する事が可能です。へき地医療拠点病院等での研修中も週1回は研修日として本学で研修を行います。

## 研修目標

消化管・肝臓・胆膵の各領域の先端医療をくまなく経験し、地域中核病院で研鑽を積む一連の過程により、消化器領域の基本的診療技能の習得はもとより、内視鏡・超音波・造影など検査・治療において、より専門性の高い診療能力を有する、実力ある消化器内科専門医を養成することを目的とする。卒業9年後には、本学や地域中核病院の第一線のスタッフとして活躍することが可能である。

## 経験目標

診療グループの一員として、主治医の指導のもと、消化器疾患を偏りなく診療し、内視鏡・超音波検査を含めた基本的手技を修得する。習熟度と希望に応じ、専門的な高度技術である内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、内視鏡的粘膜下層切開剥離術(ESD)、経皮的ラジオ波焼灼術(RFA)を専門研修中に開始することも可能である。本学、地域中核病院での研修を通じて、希望の専門医資格取得に必要な臨床経験を十分に重ねる事ができる。

## 教授からのメッセージ



北野 雅之 教授

当講座の基本的教育方針として、医局員全員が基本的消化器診療技術を修得し、大学あるいは関連病院に来院する、いかなる消化器疾患患者にも対応できるよう教育しております。また、早期に内科専門医、消化器関連専門医（消化器病学会、消化器内視鏡学会、肝臓学会、超音波医学会、消化管学会、膵臓学会、胆道学会）を取得することを目指しております。当講座の特徴的な教育方針として、消化管・肝・胆膵の専門医で構成される3名のグルー

プが主治医として診療活動を行い、研修医・専攻医がそのグループの一員として働くことにより、消化器全領域を偏りなく研修できることが挙げられます。また、内視鏡等の検査の際には、常時指導医とともにペアで手技を実施し、重厚な指導体制で臨んでいます。消化器関連専門医取得後は、それぞれの目的に応じた「懐の広い」指導体制を整えております。最先端の内視鏡技術、超音波下治療技術を早期に修得できるよう、それぞれの研修カリキュラムを組んでおります。また、大学で研究活動を積極的に行って、その研究成果を世界へ向けて発信する研究者、最先端診療を実践し県内外から診療依頼を受け、国際的にも活躍するエキスパートを多く育成することも教室の重要な役割と考えております。さらに、地域中核病院へ出向し、消化器疾患診療を中心として地域医療を守っていただくことも重要な貢献となります。



ハンガリーでの内視鏡指導風景

当科の診療・研究・教育活動の詳細は、ホームページに掲載しています  
<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/dai2naikahp/index.html>

## 当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	消化器病専門医	消化器内視鏡専門医	肝臓専門医	超音波専門医
和歌山県立医科大学附属病院	○	○	○	○
日本赤十字社和歌山医療センター	○	○	○	○
和歌山ろうさい病院	○	○	○	○
岸和田市民病院	○	○	○	○
南和歌山医療センター	○	○	○	○
りんくう総合医療センター	○	○		○
済生会有田病院	○	○		○
阪南市民病院	○	○	○	
市立貝塚病院	○	○	○	
済生会和歌山病院	○	○	○	
和泉市立総合医療センター	○		○	○
橋本市民病院	○	○		
ひだか病院	○	○		
野上厚生総合病院	○	○		
新宮市立医療センター	○			
有田市立病院	○	○		

プログラムに関するお問い合わせ、見学も隨時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 : ninai@wakayama-med.ac.jp (担当: 医局長 前北隆雄)

当科では、医療者向けに、消化器内視鏡の診断・治療のライブデモンストレーションを行うセミナーを開催しています。  
来年度も開催しますので、是非!! ご参加ください。

第4回

和歌山消化器内視鏡  
ライブデモンストレーションセミナー

きのくにライブ  
— 内視鏡診療の近未来 —

代議員人 北野雅之(和歌山県立医科大学)

日 時 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大のため、  
2021年度に延期させていただくことになりました

会 場 和歌山県立医科大学 講堂  
和歌山市紀三井寺811-1  
TEL.073-447-2300(代)

主 催 矢作直久先生(和歌山県立医科大学附属病院)  
伊佐山浩道先生(大阪大学医学部附属病院 消化器内科 教授)  
竹内洋司先生(大阪医療がんセンター 第二癌内科 教授)  
竹中完先生(大阪大学医学部 消化器内科 讲師)  
北野雅之、井口幹崇、深津和弘(和歌山県立医科大学)

【ライブデモンストレーション予定手順】

- \* 特殊内視鏡・超音波内視鏡の導入の提出
- \* 食道静脈瘤硬化術・内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)
- \* EUS-FNA・Under water EMR
- \* Interventional EUS・ERCP併用手技など

会場料・企画料 6,000円(当日受付10,000円)  
コメティカル料 3,000円(当日受付4,000円)  
研修医料は無料

事前参加申込みは2020年6月12日まで(申込用紙は裏面です)

日本消化器内視鏡学会 第二内視鏡・超音波内視鏡・内視鏡的治療委員会  
和歌山県医師会連携委員会

日本消化器内視鏡学会 認定資格更新の出席ポイント 2点

9:30AMより ニングセミナー、12:00よりランチョンセミナー、  
18:30より懇親会を行います

主催 和歌山県立医科大学第二内科  
共催 和歌山県立医科大学 和歌山県立医科大学第二内科専門会  
日本消化器内視鏡学会 内視鏡医学研究振興会

お問い合わせ先・事前参加申込み先  
和歌山県立医科大学消化器内科 きのくにライブ事務局  
naisikyo@wakayama-med.ac.jp TEL. 073-447-2300 (内線 5217)

